

# 吉備中央町

## 1 推進体制（組織図）

岡山県の“ど真ん中”のまち、吉備中央町では「第19回全国生涯学習フェスティバル・まなびピア岡山2007」の開催期間中、町の特徴を生かしたフェスティバル地域開催地として、平成19年5月31日「吉備中央町まなびピア2007実行委員会」を立ち上げました。実行委員長に吉備中央町長重森計己、副委員長に教育長井上弘志、委員には町議会代表等各団体を代表する方々がそれぞれ就任しました。

町民が、この期間中に実施する事業をとおして、生涯学習を理解し、あらためて吉備中央町に誇りを持ち生き生きと生活をしてもらいたいと考え、事業を検討し準備にかかりました。

フェスティバル地域開催地として主催事業及び関連事業の取りまとめは、各般の協力を得、連携を図りながら、吉備中央町教育委員会生涯学習班が行いました。

### 吉備中央町「まなびピア2007」実行委員会組織

（委員長） 町 長

（副委員長） 教育長

（委 員） 町議会・校長会・公民館協議会・婦人協議会・文化協会・体育指導員連絡協議会・社会教育委員・役場関係課・教育委員会の代表

（事務局）

教育委員会生涯学習班

## 2 基本方針

吉備中央町では、地域開催地事業として独自の基本方針は設けませんでした。岡山県の事業展開方針並びに吉備中央町総合計画に沿って事業を展開し、これまで吉備中央町が取り組んできた生涯学習の成果を町内外に情報発信することとしました。

今まで町としては、毎年2月に生涯学習推進大会を開催していましたが、今年は期間中に、町の特徴を生かした「生涯学習フェスティバル2007」を開催しました。この事業をとおして生涯学習を理解し、あらためて吉備中央町のよさを再発見していただきたいと考えました。このことは地域の「人づくり」「地域社会づくり」につながり、いつでも、どこでも、だれでも、学ぶことができる生涯学習の町、「ともに学び、豊かな心を育む理想郷<sup>ふるさと</sup>」をテーマにして開催することとしました。

## 3 企画運営・事業展開

### (1) 実施事業

基本方針に沿って、教育委員会生涯学習班、関係各課、公民館連絡協議会等各種団体との間で、事業内容・運営主体・実施方法等について協議し、実施事業を決定しました。

#### ○主催事業

岡山県の“ど真ん中”まなびピア in 吉備中央!!  
生涯学習フェスティバル2007

～ともに学び、豊かな心を育む理想郷<sup>ふるさと</sup>～

日時：11月4日（日） 9：30～15：30

会場：ロマン高原かよう総合会館他

内容：山陽放送アナウンサー濱家輝雄氏による「人と地域が共に輝く」と題しての記念講演、児童合唱団や和太鼓グループの活動発表、小・中学生による作文発表、紙飛行機作り・切り絵・絵手紙・墨絵・押し花・竹細工などの体験コーナー、その他軽スポーツ体験コーナーなどを実施しました。隣接する公民館では文化祭を同時開催しました。



#### ○共催事業

##### ①菊花展

日時：11月2日（金）～6日（火） 9：00～15：30

会場：吉備中央町役場賀陽庁舎前広場

内容：吉備中央町文化協会菊づくり同好会が“菊花展”を役場賀陽庁舎前広場で開催しました。11月4日は、専門家による菊の育て方などの相談会がありました。



## ②親子バレーボール大会

日時：11月3日(土) 9:00~15:00

会場：かもがわ総合スポーツ公園

内容：バレーボールをとおして、親子相互の交流と親睦を深め、今後の活動の活発化と技術の向上を図る大会とする目的で開催されました。なお、13時から選手や応援の人も参加して全員で記念事業「みんなで元気吉備キビ桃太郎体操」を行いました。



## ③せんたろう杯争奪グラウンド・ゴルフ大会

日時：11月5日(月) 9:00~15:00

会場：かもがわ総合スポーツ公園

内容：岡山県内から102チーム560名の選手が集い、3会場に分かれ、第10回記念“せんたろう杯争奪グラウンド・ゴルフ大会”が盛大に開催されました。

## ○協賛事業(9~12月に開催された7事業)

- ・わっしょい和んさか吉備高原フェスタ(9/30)
- ・岡崎嘉平太記念館企画展(10/5~11/30)
- ・岡山吉備高原車いすふれあいロードレース(10/7)
- ・岡山県立吉備北綾高校公開事業(11/9~22)
- ・読書フェスティバル in きびちゅうおう(11/23)
- ・岡崎嘉平太がめざした世界平和を考える(11/10)
- ・吉備中央町人権の集い(12/2)

### (2) 無料バスの運行

生涯学習フェスティバル2007開催時には町内各地から会場間を結ぶ無料送迎バスを運行しました。

### (3) ボランティアの参加・協力

生涯学習フェスティバル2007・菊花展・親子バレーボール大会などにおいてFOS少年団のみなさんやヤングボランティアリーダーに運営ボランティアとして参加していただきました。その他、各事業においても多数のボランティアの協力を得ることができました。

## 4 広報啓発

### (1) 屋外広告物

- ① 吉備中央町役場賀陽庁舎、加茂川庁舎、各公民館、小中学校、福祉事業所などに「まなびピア吉備中央町」のぼりを設置
- ② 公用車へまなびピア開催ステッカーを貼付しPR

### (2) 印刷物

- ① 「生涯学習フェスティバル2007」開催パンフを各戸配布
- ② 広報きびちゅうおう10月号お知らせページにフェスティバル案内を掲載し各戸へ配布
- ③ 協賛事業わっしょい和んさか吉備高原フェスタへ参加し、ステージやラジオ放送でPR、テントPRコーナーを設け、パンフや風船・開催冊子など配布



## 5 成果と課題

### (1) 成果

開会期間中は心配した雨もなく予定通り開催しました。他市町村とイベント開催日が重複したにもかかわらず、町内外から2,000人を超す来場者がありました。厳しい予算ではありましたが、それぞれが工夫して魅力的なイベントを開催し、参加者は体験や交流を通じ、学びを身近に感じることができました。

### (2) 課題

各種体験コーナーなど工夫を凝らして、楽しく学べる様々なイベントでありましたが、若い人に生涯学習にもう少し関心を持っていただけるようPRする必要があります。

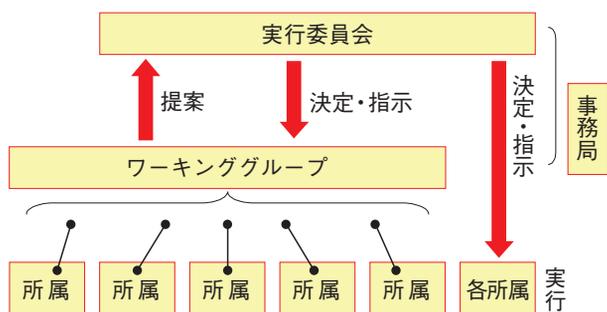
今回のフェスティバルを通して、各種団体や各公民館また多くのボランティア参加者と行政の連携により広がった絆を大切に、いつでも、どこでも、だれでも、学ぶことができる生涯学習の町、「ともに学び、豊かな心を育む理想郷」の実現を目指したまちづくりに発展させるか課題であると考えます。

# 倉敷市

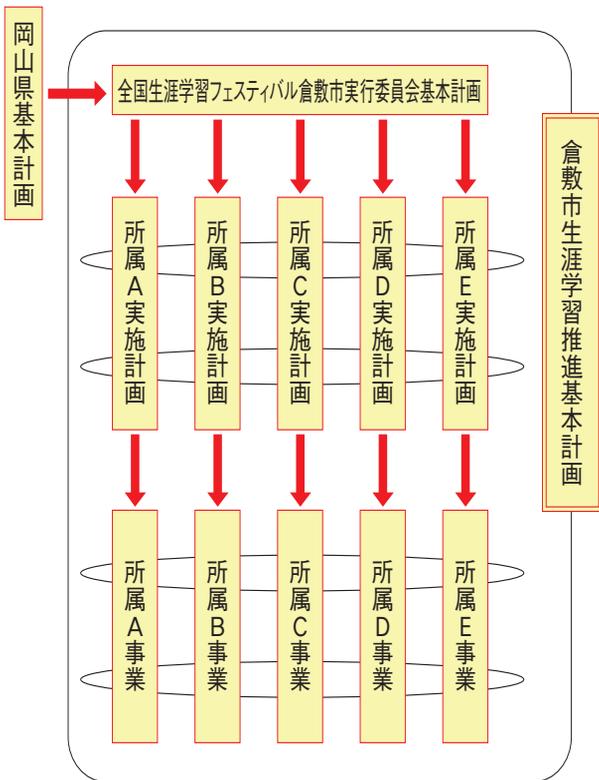
## 1 推進体制（組織図）

倉敷市では、全国生涯学習フェスティバルを開催するにあたり、平成18年7月25日に、倉敷市教育委員会教育長を委員長とする第19回全国生涯学習フェスティバル倉敷市実行委員会及びワーキンググループを立ち上げました。

実行委員会及びワーキンググループの事務局は、倉敷市教育委員会生涯学習部生涯学習課内に設置し、準備を進めました。



## 2 基本方針



倉敷市では、「多くの市民に生涯学習に対する関心を喚起し、主体的な生涯学習の意欲を促進し、さらに学習の成果が発揮できる「生涯学習社会」を整備する契機となる。」とした開催意義の下、既存の事業を集約することを基本に推進しました。

### ○既存の生涯学習行事の集約を基本

【期日】11月3日(土)・4日(日)を中心

【会場】ライフパーク倉敷ほか市内生涯学習施設等

【事業】ライフパークの集い、自然史博物館まつり、図書館関係事業

## 3 企画運営・事業展開

事業全体の基本構想・事業計画については、平成18年7月から倉敷市実行委員会及びワーキンググループで検討・協議を行い設定しました。

事業毎の具体的な事業内容と実施方法については、ワーキンググループで検討し、準備を進めました。

### ○事業展開

■新規事業：「まなびピア作品コンテスト」、「まなびの探検隊」、「市民学習発表会」、「ひびけ♪7つのハーモニー」、「1dayキャンパスinくらしき」、「生涯学習見本市」



■既存事業：「ライフパークの集い」、「自然史博物館まつり」、「図書館関係事業」



【懸垂幕の写真】



【横断幕の写真】



## 4 広報啓発

県実行委員会作成のノボリ、チラシ、冊子、市独自のチラシ、懸垂幕などによる広報と、市広報誌への掲載を行うとともに、ケーブルテレビ、FM放送で広報・啓発を行いました。

【広報誌10月号表紙】



## 5 成果と課題

### 【成果】

取り組みの成果を県内外に情報発信するという所期の目的を達成できました。多くの参加があり、活動の成果に触れたり、見たり、体験したことで、学習のきっかけづくりにつながりました。

また、本事業の出演者・出展者も日頃の活動の成果を発表することができ、学びの楽しさを再認識することができました。

さらに、生涯学習を実践している者同士の、出会いと交流の場となりました。

### 【課題】

開催時期が、秋の行楽の時季と重なり、また多くのイベントが同時開催されたため、参加者が分散してしまった感じでした。

また、事業の実施に当たり、住民、各種団体の取り組みを広げられなかった点が反省点でした。

今後、本事業の取り組みをどう継続・発展させていくか検討する必要があります。

# 笠岡市

## 1 推進体制（組織図）

笠岡市は、第19回全国生涯学習フェスティバルの成功に向け、平成18年11月9日に全国生涯学習フェスティバル笠岡市実行委員会を結成しました。笠岡市長を委員長として学識経験者、生涯学習団体、関係機関、笠岡市役所、笠岡市議会の代表者等を委員とする34名で組織され、第1回実行委員会では笠岡市基本計画の策定とフェスティバルの具体的な企画及び運営を行う笠岡市企画運営委員会の設置を決定しました。企画運営委員会は、平成18年12月15日に結成。教育次長を委員長とし、生涯学習団体等の代表15名で計7回の会議を行い、笠岡市主催事業の内容を検討しました。

事務局は、教育委員会生涯学習課と市長部局協働のまちづくり課が協力して行う体制としました。



## 2 基本方針

笠岡市では、市のテーマを、「みんなが主役 笑顔で広がる学びの輪」に決定。岡山県の方針を受け、次の4点を基本方針として、“市民が主役の市民総参加の”フェスティバルを目指しました。

- (1) 誰もが参加・交流・体験でき、学びを身近に感じることができるフェスティバル
- (2) 市民が主役のフェスティバル
- (3) 開催成果が継承されるフェスティバル
- (4) 笠岡学びスタイルを発信するフェスティバル

### 【笠岡学びスタイル】

- ①歴史や文化・地域の宝物の再発見と継承
- ②学びの成果を生かした生涯学習諸事業、地域社会づくりの紹介
- ③生涯学習拠点施設の機能を生かした学習活動の紹介
- ④スポーツ・レクリエーションの振興による地域の活性化

## 3 企画運営・事業展開

### 【主催事業】

#### (1) 地域探訪（再発見）ツアー

笠岡の特徴である笠岡諸島等の魅力をPRし、笠岡のよさを再発見するツアーを実施しました。

- ①「伊能忠敬の足跡をたどる」201年前の伊能忠敬の足跡をたどり、当時の測量を体験しました。

期日：10月7日（日） 場所：白石島～真鍋島

- ②高島「地産地消」底曳き船で海の、島内で野山の食材を採り話題の「しまべん」を作り味わいました。

期日：10月14日（日） 場所：高島

- ③飛島「椿」収穫祭 椿を収穫後、椿油絞りの今昔体験。島民と共にうどん作りをし、味わいました。

期日：10月27日（土） 場所：飛島

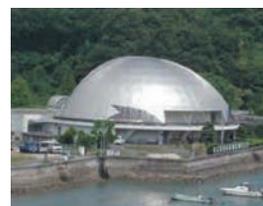
- ④笠岡歴史クイズツアー「クイズで笠岡再発見」

クイズをしながら市内の文化財、古墳、笠岡湾干拓等をめぐり、笠岡の歴史・文化を学びました。

期日：10月21日（日） 場所：市内各地

#### (2) 生涯学習施設スタンプラリー

カプトガニ博物館、竹喬美術館など笠岡が誇る生涯学習施設を結ぶスタンプラリーを実施。20の地区公民館事業を合わせて紹介し、地区内外から参加者を募りました。



期間：10月6日（土）～11月6日（火）

会場：カプトガニ博物館、竹喬美術館、市立図書館、総合体育館、郷土館、各地区公民館等

#### (3) 笠岡市菊花展

期間：10月23日（火）～11月4日（日）

会場：笠岡市民会館

#### (4) フェスティバル前夜オープニングコンサート

国の重要文化財遍照寺多宝塔建立400年とフェスティバル開催を祝って、多宝塔内部公開とコンサートを実施しました。



日時：11月2日（金） 17：30～19：30

会場：遍照寺多宝塔

#### (5) 生涯学習施設開館関連事業

フェスティバル期間中を中心に、各施設で様々な関連事業を実施しました。

期間：11月2日（金）～11月6日（火）

【カプトガニ博物館】自然公園観察会、えさやり体験

【竹喬美術館】特別陳列「詩心 竹喬ー竹喬美術館珠玉の数々からー」

【市立図書館】手品ショー、特別映画会「半落ち」

【郷土館】特別展「かさおか歴史再発見」

#### (6) 笠岡市青少年スピーチコンテスト

小中学生が、日本語部門と英語部門で自分の思いを主張しました。

日時：11月3日（土） 9：00～12：00

会場：笠岡市民会館

## (7) 第19回笠岡市生涯学習フェスティバル

期日：11月3日(土)・4日(日)

会場：笠岡市民会館

### ①記念講演会

お茶の水女子大学名誉教授の森隆夫先生をお招きし、「人生有限 学習無限」のテーマでご講演いただきました。



### ②舞台(ステージ)発表

第1部テーマ「歴史・伝統の重みをかみしめて」  
重要無形民俗文化財「白石踊」「大島の傘踊り」  
北木島に受け継がれる「石切唄」等の発表  
第2部テーマ「無限に広がる学びの輪」  
地区公民館、高校生、各種団体による地域紹介、  
活動紹介、ダンス、演奏、踊り等  
第3部テーマ「あらゆる世代が輝いて」  
市民ミュージカル「カブニの遠足」や中学生ブラスバンド演奏、市内複数合唱団による大合唱等あらゆる世代の活躍や交流を発表。

### ③展示コーナー

・笠岡市PTA連合会児童生徒美術展・学校給食展・公民館・学校・各種団体活動発表等

### ④体験・販売コーナー

・アイマスク・点字・車いす体験、まんが教室、科学不思議体験、物作り体験、折紙でマナビィ作り等  
・高校生、公民館等による手作り品・特産物販売、焼き芋・そばの販売等

## (8) 笠岡クイズ王選手権

笠岡の魅力を再発見し、PRするために、官民協働でクイズ王選手権を実施しました。



日時：11月4日(日) 10:00~12:00

会場：笠岡総合体育館

## (9) 男女混合綱引き大会

幅広い世代で楽しめ、応援も含め一体となって盛り上がる綱引き大会をフェスティバル開催記念として実施。武術の体験コーナーも同時に開設しました。

日時：11月4日(日) 13:00~15:30

会場：笠岡総合体育館

### 【協賛事業】(9月~11月に開催された12事業)

世代交流囲碁将棋大会(9/23)／第55回笠岡市文化祭(10/26~28)／第30回笠岡市芸能祭(10/28)／大井地区公民館フェスティバル(10/28)／人権教育講演会(11/8)／森恵コンサート(11/9)／第49回笠岡市児童生徒音楽発表会(11/10)／今井地区文化祭(11/11)／笠工祭(11/17)／サクソフォン公開レッスン&コンサート(11/18)／ふるさと探訪(11/24)／森田思軒顕彰講演会(11/25)

## 4 広報啓発

### (1) 屋外広告物

- ①笠岡市役所本庁舎に「まナビピア岡山2007」の懸垂幕を設置
- ②笠岡市役所本庁舎、分庁舎、カブトガニ博物館、竹喬美術館、市民会館、各地区公民館などにのぼりを設置

### (2) 印刷物

- ①市広報誌「広報かさおか」に4月~10月まで毎月「マナビ通信」を掲載して全世帯に配布。
- ②各主催事業のポスター、ちらしを各公民館、学校、公共施設等に配布及び掲示

### (3) その他

- ①市ホームページにて「全国生涯学習フェスティバル 笠岡市事業の紹介・参加者募集等」を配信
- ②報道機関にイベント案内を送付
- ③地元ケーブルテレビで約20分の広報番組を制作、1ヶ月にわたって放映。
- ④地元FMラジオで、10月に5回の生放送でイベント紹介

## 5 成果と課題

### (1) 成果

11月3日(土)、4日(日)が中心の事業展開でしたが、期間中に市内外から6千人を超える来場者があり、盛況のうちに事業を終えることができました。就学前の幼児から90歳をこえる高齢者まで、小学生、中学生、高校生、成人のあらゆる世代の市民が集い発表に参加したこと、地域の伝統文化の継承や様々なジャンルの学習場面で世代間の交流が図られている姿が具現化され、そのすばらしさを実感できたフェスティバルになったことは、市民の生涯学習への意欲を高めるとともに今後生涯学習の推進する上で大きな力となったと思います。

また、地域の特色を生かした生涯学習を進めていく上で、笠岡のよさ・笠岡らしさという視点から自然環境、文化、施設、各種行事を再検討(再発見)できたことも意義のあることでした。

### (2) 課題

市民が主役のフェスティバルという点では大きな成果がありました。岡山県内全市町村が会場であったために、他市町村及び県外からの来場者が見込めず、市民のための全国生涯学習フェスティバルにとどまったことは残念です。

今回のフェスティバルを通して広がった人と人のつながりや生涯学習の輪を今後の地域社会づくり、まちづくりにどう生かしていくかが課題であると思います。



「みんなが主役 笑顔で広がる学びの輪」  
このフェスティバル開催の成果を生かすことが大切!